

# 広報 かわぐち

No.77 3月  
昭和55年

発行 新潟県川口町長 青柳 弘  
編集 川口町役場企画課  
(949-75 ☎025889(代)3111)

## おしらせ

### 妊産婦保健指導 とミルク支給

3月3日(月) 1時30分から  
福祉センター  
該当者に個人通知

### 糖尿病教室

3月7日(金) 1時30分から  
福祉センター

講師 小出病院栄養士  
該当者に個人通知

### 乳児・三才児検診

3月18日(火) 受付1時30分  
福祉センター  
対象 54年11月、12月生  
52年2月、3月生

医師 小出病院小児科医師  
母子健康手帳携行のこと。  
該当者に個人通知

### ハシカの予防接種

3月12日(水) 受付1時30分から  
町民文化会館  
対象 49年3月～54年2月までの  
出生児  
一才から六才までの幼児で、ま  
だハシカにかかっていない者。  
ハシカの予防接種をしていない  
者。

### 栄養士募集

特別養護老人ホーム八色園で、  
次のように栄養士を募集していま  
す。

採用人員 一名  
勤務 大和町、八色園  
資格 栄養士の資格を有する者  
四十才未満、性別不問

申込 三月十七日午後五時まで  
市販の履歴書、顔写真(縦四cm  
横三cm)各一通を八色園へ  
試験 三月二十二日  
その他 不明の点は、八色園へ  
☎ 7-3811

### 固定資産課税 台帳の縦覧

昭和五十五年度の固定資産課税  
台帳(土地、家屋、償却資産)を  
次のとおり縦覧に供しています。

### テレホンサービス

期間	テーマ
1～3日	石油製品の価格動向
3～6日	消費生活相談事例
6～10日	子供たちを取りまく商 品の危害情報
10～13日	アイロンの上手な買い 方、使い方
13～17日	消費生活相談事例
17～21日	石油製品の価格動向
21～24日	4月1日から施行され る単位価格表示の県基準
24～27日	下着の試買テスト結果
27～31日	消費生活相談事例 ダイヤルしましょう (0252)67-7000 「ハイ県くらしのダイヤルです」

### 作業停電

3月21日(金) 9時～13時  
東川口、竹田、牛ヶ首、木沢、峠

### 特殊切手類の発行案内

昭和55年に発行する記念切手な  
ど、特殊切手類の発行計画が次の  
とおり決まりましたので御利用下  
さい。

- | 発行 | 名称  |
|----|---|
| 3月 | ・財政監督制度百年記念<br>・日本の歌シリーズ第四集                                 |
| 4月 | ・切手趣味週間<br>・日本の歌シリーズ第五集                                     |
| 5月 | ・近代美術シリーズ第六集<br>・練習帆船日本丸・海王丸50<br>年記念<br>・国土緑化運動<br>・消防百年記念 |
| 6月 | ・日本の歌シリーズ第六集  |
| 7月 | ・近代美術シリーズ第七集<br>・ふみの日                                       |
| 8月 | ・第16回国際昆虫学会記念<br>・国際地理、地図学会議記念                              |
- 発行は予定を変更することがあ  
り、予定以外にも発行することが  
あります。

くわしいことは、川口郵便局へ  
おたずねください。

この機会に、あなたの財産を確  
認しておきましょう。

期間 3月1日～3月21日  
時間 役場の執務時間内  
場所 役場町民課

### 消費生活情報

### 洗剤使用は少な目に

台所用合成洗剤は、基準どおり  
に使用すれば安全、という結論が  
出されていますが、台所用洗剤で

三十パーセントの主婦が、皮ふ障  
害を経験していますし、経皮吸収  
による、生体への影響について、  
疑問視する学者グループもいます。  
台所用合成洗剤は、いくつかの  
種類がありますが、洗浄力の強い  
洗剤ほど脂肪の分解が強く、手荒  
れを起こしやすいものです。

容器に書いてある標準使用量を  
守り、スポンジに原液をつけるな  
どの使い方はやめましょう。

洗剤を使用しても、油污れ以外  
の汚れは残りますし、残留農薬は  
分解されません。野菜、果物など  
の洗剤洗いは無駄であり、逆に残  
った洗剤を口に入れることになり  
ますから、厚く皮をむくか、その  
まま食べるものは、水道の水で  
いねいに洗うほうが安全です。

台所用洗剤を一般に使うように  
なったのは、二十年前くらい前か  
らで、全く使わない生活は無理でし  
ょうから、安全のため、石けんも  
含めてできるだけ洗剤を使わない

工夫が大切です。  
茶わん類は別に洗う、油污れは  
紙でふきとってから洗う、ふきん  
で力を入れてこすり、ふきんはま  
とめて洗うなどの工夫をしまし  
ょう。



# 魅力ある住みよい町を

## 英知と活力を結集して 勇気ある前進

青柳町長は、二月二十六日、町議会三月定例会の本会議において、つぎのような町政運営に関する所信の表明と、昭和五十五年度における主要な施策についての施政方針を明らかにして、八〇年代の新しい時代を開拓するために、町民各位の理解と協力を要請しました。



### はじめに

最近におけるわが国経済の情勢は、石油価格の上昇、国際社会の複雑な要素の交錯など厳しい環境の中ではありませんが、過去数次にわたる公共投資の拡大と、民間企業の経営努力を背景にして、自律的な景気の回復基調を示しているとはいえず、今後における情勢はきわめて不安定の要因が山積されております。

すなわち、消費者物価は現段階ではおおむね安定的に推移しているものの、石油価格の影響に円安傾向も加わって、卸売物価は前年同月比二十・二パーセントと危機的上昇が続き、四月からは公共料金的大幅引上げなど、三十三ドル原油の影響は、狂乱物価へエスカレートする様相をみせております。

また、景気の動向についても先行き極めて不透明であり、厳しい局面が予想されるところであります。

こうした国の経済情勢に併せて、現行の過疎地域対策緊急措置法が三月末をもって失効となり、政府はこれに代わる新過疎法の考慮をしておりますが、新法の指定基準は厳しくなり、人口減少率から想定しても本町は過疎地域に該当せず、財政上の特典を失うことになるわけであります。

このように、かつてない極めて困難な財政環境の中ではありますが、住民の価値感の多様化と、行政需要の限りなき増大に対応するために、町民のみならずとも考え、ともに協力し合って、八〇年代の当町の歩みを確かなものとすべく、発想の転換をしながら自主的な創造力を発揮し、新たな行政展開を図る考えであります。

したがって、新しい時代に適合した、魅力ある地域社会の形成をめざして、一、財政の健全性を維持するため、一般行政費など消費的経費は厳にこれを抑制して、財源の有効化に徹し、財政構造の弾力性堅持に努める。

一、魅力ある郷土の建設に必要な、社会資本の計画的整備を促進するとともに、きめ細かな配慮を加えながら、社会経済情勢の推移に即応した行政需要に、財源の重点的、効率的配分を図る。

私は、この基本的な考え方の上に立って各般の施策を進め、町民のみなさんの理解と協力によって合意を形成しながら、「活力あるあたたかい町づくり」に、精魂を打ち込む所存であります。

### 町政の方針

建設事業は、従来のような借入金のみによる単独事業を極力抑え、国・県補助事業を重点的に導入して財源確保を図る考えであります。

- このように新しい時代への対応は、国民的努力が必要であり、町民各位の深いご理解を求めるところです。
- 第一は、連帯と協調
  - 第二は、定住環境の開発
  - 第三は、新しい農業と商工業の振興
  - 第四は、教育文化とスポーツの向上
  - 第五は、住民福祉の前進

### みんなの力で町づくりを

経済の高度成長に慣れ親しみ繁栄に酔って、物さえあれば、金さえあれば、自分さえ良ければという風潮は過去のものとしなければなりません。

### 財政実情

国が策定した昭和五十五年度の地方財政計画では、五十四年度税収の伸び分を新年度に振り替えるなど、苦しい財源調整の結果、五十四年度より減少はしましたけれども、財源不足額は二兆五百五十億円となっております。

この財源不足対策として、交付税特別会計においての借入金で交付税を増額するほか、建設地方債に依存するという従来どおりの考え方であります。

公債政策は、財政の体質を弱化するところから、地方債発行をなるべく抑え、収入増加分は後年度のために措置する必要があるとの国の指導であります。

新年度におきます本町の財政見通しは、地方交付税依存率が大幅に上昇したことにより、町税収入が伸びているにもかかわらず、自主財源率は、歳入総額の十九・四パーセントと落ちこんでいる状況であります。

さらに、町債の残高は逐年増加の一途をたどり、新年度における町債償還金は、二億二千二百万円となって、歳出総額に占める公債費の割合は十五パーセントに達し、これがため、後年度の公債費対策として、新年度も減債基金の積立をすることとしたものであります。

このように、本町における財政の構造を細かく分析して、長期的視点にたったの財政対応が必要であります。

### 新しい時代への対応

この厳しい現実から将来を展望するとき、八〇年代は新しい時代に向かっている対応の時代であると考えます。

これからは、成長よりも活力を秘め、質的均衡のとれた安定社会をめざすものであり、この変化と転換に地方自治体はもとより、企業も家庭も正しい対応を示さなければなりません。その対応には、従来に比較して苦悩と忍耐がつきまとうことは必至であります。

国も財政再建元年と銘うって、各種改革に着手しておりますし、町も同じ姿勢で進む方針であります。

この認識の上にならば、行政の合理化、財政の健全化を進めるにあたり、求めるべきところは求めるということから、一部使用料等の引き上げを実施するほか、サービスの低下をきたさない範囲で、施設の宿日直廃止、管理の民間委託などを行い、職員関係についても事務事業の見直しによって行政機構の合理化、特別職三役給与を前年に引き続いて据置き、職員手当の引き締め、退職者の補充をみあわせる等内部努力を積極的に行います。

### 5つの重点施策

1. 連帯と協調
2. 定住環境の開発
3. 新しい農業と商工業の振興
4. 教育文化とスポーツの向上
5. 住民福祉の前進



### 住みよい環境でふるさと意識を

社会生活の原点は家庭であり、この家庭基盤を充実させるものは、何よりも地域の居住環境整備であります。

私は、豊かで住みよい地域環境をつくり出すために最大の努力を払い、定住条件の改善を大きく進める考えであります。この総合的な対策として、「農村地域定住促進対策事業」と「農村基盤総合整備事業」を柱に、次のように各般にわたる施策を計画いたしました。

まず、定住促進対策事業の中核となります運動公園は、新年度に仕上げの段階にはいり、八月にはオープンして町民各位から利用していただく予定であります。

運動公園は専門の野球場、陸上競技と野球やその他の球技ができる多目的広場、テニスコート五面、芝生広場を有し、これを新しい川口町の顔として立派に成功させたいと念願しております。

また、運動公園の隣接地に野外体育施設としての「フィールドアスレチックコース」を設置することいたしました。フィールドアスレチックは、子供からおとなまで利用でき、健康の増進とレクリエーションを目的に、運動公園と併せて、町外利用者の誘致に取り組みたいと存じます。

次に、町道は年々改良が進められているところではありますが、さらにこれを推進するため、新年度は改良十一路線、舗装六路線を計画いたしました。

### 希望のもてる産業をめざして



まず、農業振興につきましては、米の過剰攻勢の中にあつて、農業を守り生かしながら健全に発展させるには、行政と農業者が一体となって努力をしなければならぬわけであり、昭和五十三年度から実施されました水田利用再編対策は、農家のみなさんのご協力をいただき、昨年は本町の配分面積十七・八ヘクタールのところ、百六十七パーセントの達成率となりましたが、新年度はさらにこの実績を十四・八パーセント上回る

三十四・一ヘクタールが配分となりました。かつ、今後も引き続き拡大されることが予想できる厳しい情勢であります。農家各位の絶大な協力を要請するものであります。

また、なるべく早く転作を定着させて経営基盤の強化をはかるために、昨年引き続き転作技術指導員の設置、転作実証圃を実施することにいたしました。

私は、いかなる事態にも十分対応できる農業経営に体質を強化するためには、「複合営農」を展開する以外には道はないと判断しており、新しい農業としての複合営農への移行に、勇気と熱意をもって取り組む考えであります。

したがって、昨年地域農政移行審議会を設置したところですが、さらに、新年度は、本町地域に適合した「川口町地域農政移行基本構想」を策定し、あわせて各種機械の導入、農地貸借の斡旋、農地造成などきめ細かな配慮をいたす考えであります。

農村基盤総合整備事業と定住促進対策事業では、新年度に農業用水利の揚水施設整備をするほか、環境面での集落排水、集落開発センター及び近代化のための育苗施設を設置する予算措置をいたしました。

また、農村基盤総合整備事業を、新たに第



複合営農は新しい時代の要請

エネルギー資源を主体として、各種資源の過剰消費が望めなくなった時点においては、相互に助け合い、補い合い、責任を分かち合つて地域の発展を維持しなければならず、これが連帯と協調の原理であります。

この際、衆知を集めて健全な町づくりをすることが大切な行政課題であると考えます。こうした考えから、コミュニティの形成を促進して自らの地域づくりは自らの手という自治意識を高め、さらに町づくりに対する町民のニーズとアイデアを取り入れるため、新年度は「町政モニター」を設ける考えであります。

連帯と協調こそ、新しい時代への道程における試練を克服するための、基礎的条件であります。

克雪対策につきましては、機動力強化と作業能力向上のために、ブルドーザーを購入すべく予算措置したのであります。

また、東部地区が、家屋の密集によって排雪作業に困難をきたしている現況を考慮して、新しく「凍雪防止事業」を導入、寺裏線流雪溝新設工事を新年度から実施することいたしました。

さらに、牛ヶ島地内の県道消雪パイプ布設が、県工事で実施される予定でありますし、生活関連道路除雪には万全を期して、交通確保に努める考えであります。

小千谷市との広域常備消防が昨年実現し、消防署川口出張所が川の沢において建設中であり、地域における消防力の強化は必要であるため、防火水槽の設置、小型動力ポンプ積載車の購入、消防防災無線機の設置をするほか、交通安全施設などで防災対策を進める計画であります。

本町に大きな被害をもたらした五十三年の六・二六水害は、復旧工事が順調に進んで新年度をもって終了の運びとなり、農地農業用施設十九件、公共土木施設十一件の予算計上をいたしましたのであります。

また、関越自動車道工事に関連する道路歩道の設置や交通信号機の新設等は、道路公団の協力によって順調に整備が進んでおります。



なお、農村の環境整備を目的として、新年度一カ年だけ特定の町村に限って実施される「農林漁村構造改善村落特別対策事業」が、本町に優先的に採択される見通しとなりましたので、「克雪対策環境整備」及び「保健センター」など、効果的な事業を実施するため検討を進めているところであります。

克雪が冬の生活不安を解消してくれる。



道路の改良は、環境整備の第一歩

### ゆたかな心 たくましい体で 未来を

青少年は次の世代への使者であり、文化の伝承者であります。未来を建設し拓いていく青少年を健全に育成するために、教育の諸条件を改善し環境を整備することは、行政の任務であり社会の責任であります。

特に、社会教育にスポーツを大きく取り入れ、二十一世紀へ勇躍する若者が、社会連帯を大切にして個性豊かにはつらつと成長することを願って、こうした施策を積極的に進める考えであります。



青少年は未来に夢をたくす

まず、学校施設につきましては、川口小グラウンドを整備するほか、理科教育振興法に基づいた、小中学校の理科教材の充実を図るべく予算措置をいたしました。

社会教育におきましては、現行のリーダーバンクをさらに強化充実して活用し、高齢人口の増加に対処しての高齢者教育、文化活動への参加機会拡大と、趣味やレクリエーション



スポーツではつらつとした成長を

ンなどのサークル活動によって、生涯にわたる能力開発と個性の伸長に力を注ぎたいと存じます。

また、これらを効果的に運用するため、社会教育に関する実態調査で、婦人層をはじめ各分野における町民意識を把握する考えであります。

さらに、地方の時代と併せて文化の時代と言われている社会情勢に因って、新年度は「図書館」を新設することといたしました。町民文化会館を利用して、図書を整備し一般に開放するとともに、中学・高校生の家庭学習の場としても効果的な運用を図る考えであります。

次に、スポーツの向上はなんといっても施設の整備充実にあると考えます。さいわいにして、運動公園とフィールドアスレチックが完成いたしますし、これら施設は、必ずや

町民各位の期待に添うものと確信いたしております。新年度は、このスポーツ施設の完成を機会に、各種大会の誘致及びスポーツ行事を幅広く展開して、施設の高度利用を図るはもちろんのこと、スポーツ指導員、地域スポーツ推進員を活用、スポーツ推進元年として、日常生活の中にスポーツ熱を浸透するきっかけにしたいと考えるものであります。

また、本町において不足するスポーツ施設が、「体育館」であると考えられ、また要望も強いところから、これの建設計画について慎重に検討する考えであります。



おとしよりに  
生きがいとやすらぎを

会を設置することとしたほか、婦人による保健衛生活動推進員並びに食生活改善推進委員を中心にして、自分の健康は自分で守るという意識を広め、特に食生活の改善指導、各種検診の事後指導、婦人貧血予防に力を注ぎ、各位の理解を深めて成人病の受診率向上を図り、町民の健康づくりを進めたいと存じます。



ゆたかな心、健康な体で子供  
たちは21世紀へとびたつ

### 特別会計事業

次に特別会計事業について申し上げます。

まず、国民健康保険事業であります。医療費は、人口構造の老齢化、疾病構造の変化医学及び薬学の進歩などによって逐年増加しており、特に近年その増加の傾向が著しく、また将来にわたって増加するものであります。

国保組織が、数年来強力に働きかけてきました高齢者保険医療制度の抜本改革は、遺憾ながら解決をみるに至っておりませんが、この制度成立のための運動を県連合会を中心として強力に進める考えであります。

医療費の推計につきましては、過去の実績の推移、伸びなどを検討して十一・九パーセント、保険料につきましては、やむを得ず十四・五パーセントの引き上げとなったものであります。

新年度は、任意給付額を維持するとともに、高額療養費受領払制度の効果的運用によって、被保険者の負担軽減を配慮しながら、健全財政を確保する適正な事業運営に努める所

### 福祉で安心できる日々を

従来のように経済の高度成長に多くを望むことが不可能となった今日、真に社会の援助を必要とする恵まれない人々への心あたたかい配慮は格段の重要性をもち、私は社会連帯の考えの下に、福祉対策は着実に前進させなければならないと存じます。

老人福祉は、急速に進行する人口老齢化の情勢に因って、ねたきり老人の方に思いをよせ「老人家庭奉仕員」を増員することとしたほか、敬老会をはじめとする慶祝行事、老人居室整備資金の貸し付け、生きがい対策の諸施設をさらに充実する方針であります。

また、荒谷地区が「へき地老人クラブ」の認定となりましたので、新年度からクラブ増設をすることにいたしました。



社会福祉としましては、新年度から新たに、「特定疾患、精神障害者交通費助成制度」を設け、これらの人たちが治療に要する交通費を負担することにいたしましたほか、「母子家庭高校生修学資金助成制度」を創設して母子年金、児童扶養手当をうけられない人を援助することにいたしました。

気の毒な人たちが、これらの新しい施策で社会参加が促進できればと願いをこめての制定であり、県内でも例の少ない制度であります。

また、これまで実施してきました「町営霊柩自動車事業」は、その利用状況や専用車両の維持困難などの理由からこの事業を廃止することとし、代わりに低所得者層の方が町外の霊柩車を利用する経費を助成することに改め、「葬祭費助成制度」を設けることといたしました。

さらに、障害者や妊産婦及び乳児の医療費助成などの制度は、これを効果的な運用を図る考えであります。

児童福祉面では、昨年田山保育所の建設がおわり、新年度から完全保育施設として運営することになりましたので、これで全ての保育所での保育環境が整備されたこととなります。

したがって、今後は保育における質的向上を促進する方針であります。

次は、町民の健康対策であります。人間の真のしあわせは、健康で長生きをすることであるとの考えから、昨年スタートした健康づくりをさらに強化し、新年度は「対策協議

存であります。

簡易水道事業は、需要量増大に対処する水源関係が整備されましたので、新年度は、給水管の増補改良を実施する考えであります。

また、西倉地区及び高速道サービシアリアにおける新規需要に対する水源探索など、調査事業を実施すべく予算措置をいたしました。

さらに、事務の改善合理化のため、新年度から本会計において「伝票会計制度」を採用することにいたしました。

ガス事業につきましては、導管の老朽に伴う増補改良を実施するほか、他町村におけるガス関係事故多発の現況を教訓として、ガス保安規程を整備、保安体制の確立を図ったものであります。

農業共済事業は、水稲、蚕繭、家畜の各業別費の助成を従来どおり実施して、共済の充実をめざすものであります。

### 予算の規模

以上の方針のもとに編成いたしました昭和五十五年予算は、

一般会計	十四億八千七百七十万円
国民健康保険特別会計	二億三千六百七十七万九千九百
簡易水道事業特別会計	五千七百三十三万四千円
ガス事業特別会計	一億三千七百七十二万円
農業共済事業特別会計	三千八百九十六千円

### むすび

以上で昭和五十五年度の町政運営の指針と施策の概要について申し述べましたが、私は一九八〇年代を踏み出すにあたり、町民各位との合意によって今後の進路を選択し、英知と活力を結集して、勇気ある前進を続ける所存であります。各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

# 定例議会を開催

## 55年度予算などを審議



町議会の三月定例会は、二月二十六日から十五日間の会期で開催されています。

今回は、第一目に昭和五十五年予算及び、関係条例など八十年代初年度の川口町の方向づけとなる案件が提案されており、第二日目は、昭和五十四年度補正予算などの議案が提出されることとなっております。議案の審議は、本会議二日、連合委員会及び常任委員会が五日間の予定で、慎重な検討がされています。

- 三月定例会提出議案(第一日)
- ▽専決処分事項の報告
  - ▽職員定数条例の一部改正
  - ▽課設置条例の一部改正
  - ▽議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
  - ▽特別職の職員で非常勤のものに関する条例の一部改正
  - ▽特定疾患、精神障害者の交通費助成に関する条例の制定
  - ▽保育所条例の一部改正
  - ▽へき地保育所条例の一部改正
  - ▽児童館条例の一部改正
  - ▽廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正
  - ▽火葬場の設置及び管理条例の一部改正
  - ▽霊柩自動車事業施設の設置等に関する条例の廃止
  - ▽総合福祉センター設置及び管理に関する条例の一部改正
  - ▽生活改善センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

- ▽集落開発センター条例の一部改正
- ▽運動公園の設置及び管理に関する条例の制定
- ▽運動公園フィールドアスレチックコースの設置及び管理に関する条例の制定
- ▽運動広場の設置及び管理に関する条例の制定
- ▽町営住宅の位置、構造及び家賃に関する条例の一部改正
- ▽簡易水道事業運営基金の設置等に関する条例の一部改正
- ▽農業共済条例の一部改正
- ▽農業共済事業無事戻し金の承認について
- ▽農業共済事業特別積立金の取りくずし承認について
- ▽町道路線の変更及び廃止について
- ▽昭和五十五年予算 一般会計 特別会計 四件

## 二年ぶりの豪雪

### 対策本部を設置

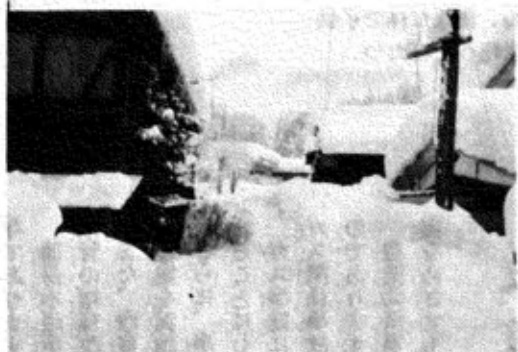
連日降り続いた雪はおどろくべき量となり、除雪や排雪が困難の状況となったため、町は二月十五日

午後五時に「豪雪対策本部」を設置して、道路確保に努めるとともに個人家屋等の被害防止を呼びかけました。

積雪は二月十八日の三一五センチ(蚕業試験場調べ)が最高ですが、木沢地区では同日四一六センチを記録し、同じ町内でも山地と平地では大きな差がでています。

最近の豪雪状況は、五十三年二月七日に対策本部が設置されており、この年は三月十五日が最高の積雪深で二九七センチ、四十九年は二月十四日に三三三センチ(いずれも蚕業試験場調べ)を記録しています。

本年の雪は、降り始めがおそく、二月になってから急カーブで上昇



積雪は二月十八日の三一五センチ(蚕業試験場調べ)が最高ですが、木沢地区では同日四一六センチを記録し、同じ町内でも山地と平地では大きな差がでています。

最近の豪雪状況は、五十三年二月七日に対策本部が設置されており、この年は三月十五日が最高の積雪深で二九七センチ、四十九年は二月十四日に三三三センチ(いずれも蚕業試験場調べ)を記録しています。

本年の雪は、降り始めがおそく、二月になってから急カーブで上昇

## 申告納税は 3月15日までに

### 所得税と贈与税

「所得税」と「贈与税」は、三月十五日が申告と納税の期限です。まだお済みでないときは、期限までにお忘れなく申告と納税を済ませてください。

三月十五日間近になると、税務署が混雑し、待ち時間が長くなります。

申告書の書きかたなどで、おわかりにならない方は、税務署で相談を行っています。お気軽におかけ下さい。

小千谷税務署 (電話)小千谷(3)2090

## 豪雪から老人を守る ボランティア活躍



### 青年団員が奉仕

二月十日川口町青年団(森山博团长)のメンバー十八人が、町の一人暮らし老人や老人だけで屋根の雪おろしができない家庭を回って、雪おろしの「ボランティア活動」をしました。

今年例年ないドカ雪で、老人家庭にとっては雪おろしは一番の難題。一行は五班に分かれ、弁当、茶菓子を持参して、小和北、荒屋、竹田、峠とそれぞれの老人家庭を訪れ、屋根の雪おろしや家の回りの雪のけをしました。作業終了後はお年寄りを囲んで、お茶を飲みながら談笑に花を咲かせお年寄りから感謝されました。

この「雪おろしボランティア」は今年で四回目。「お年寄りを励

まし、僕らもそこから何かを学びたい」と始めたものです。

このさわやかなボランティアの芽は大切に育てたいものです。

青年団の皆さんほんとうにご苦労さまでした。

## 和南津地区館 活動実践の 明るい村づくり



和南津地区館では、「手づくり村」をスローガンに公園や、広場の整備をしてきましたが、小正月に「村づくり」をどう進めるかをテーマに「村づくり大会」を開催しました。

会場の集落開発センターには、

習字、絵、料理、短歌や、青年会が行った、和南津の現状と今後の変化予想などのアンケート調査の結果のほか、絵で表した今後の和南津など、村づくりのユニークなアイデアが、壁いっぱい張り出され、終日にぎわっていました。

## 卒業記念に

### ふるさとかるた作り



田麦山小

「ワーツ」と喚声をあげてジャンボかるたに飛びつく子供たち。田麦山小学校で、さきほど手づくりの「ふるさとかるた大会」が開かれました。

現代っ子たちにふるさとのよさを教え、古くからのことがらを将来に伝えようとこの計画がたられ、同校の児童会が、田麦山地区独自のふるさとかるたを製作したものです。

読み札も絵札もすべて児童の手づくり、画用紙を使ったジャンボなもので、六年生が中心となっ

て分担作業で仕上げたとのこと。

読み札の文は、子田先生が部落の人の話をききながら、昔のことからをりませせて製作、「ふるさとかるた」田麦山今昔案内」と名付けています。

かるた大会は、全校児童を四組に分けて体育館で行い、みんながハッスルして男女入り乱れて元気なかるた取りとなりました。

指導に当たった子田先生は、「これがふるさとだ」というものを作りたかった。山里での夜語りの糸口になることを願っています。子供たちが大きくなった時の思い出になってくれれば」と話していました。

## 囲碁将棋大会

同校では、これを六年生の卒業記念行事として続ける方針とか。

写真はかるた大会の子供たち

二月三日、福祉センターで行なわれた新春囲碁将棋大会の結果は次の通りです。

◎ 将棋の部			
	優勝 星野 健一	準優勝 星野 誠	
組	一位	二位	三位
松組	星野 健一	大淵 公男	喜多村 喜平
竹組	渡辺 藤太郎	関 和雄	星野 富欽
梅組	星野 誠	星野 進	真島 真
◎ 囲碁の部			
	優勝 真島 昭左久	準優勝 小宮山 忠男	
A	真島 昭左久	中 林 貞三	小 山 和夫
B	小宮山 忠男	丸 山 東威	渡 辺 善昭

# 高校スキーで大活躍

ジャンプ・複合のタイトルを独占



安定したフォームで優勝した松崎敦君

先に中頸城郡妙高高原町で行われた、県スキー選手権大会兼国体スキー競技会県予選会及び、県高校スキー大会兼全国高校スキー大会県予選会で、松崎敦君（堀之内高、川口四小一郎氏長男）と、丸山克己君（小千谷高、川口四熊五郎氏長男）の二人が大活躍をしました。

二選手とも、純飛躍、複合の二種目に出場しましたが、松崎選手は、県選手権大会と県高校大会の純飛躍において安定した飛行をみせ、七十一メートルの最長不倒をマークして一位、複合でも得意の距離を生かして一位となり、昨年に続いて、二つの大会で、両種目を制覇し、県内タイトルを一人占めました。

また丸山選手も、両方の大会で二種目とも二位となっており、県選手権大会の複合前半、飛躍では一位となっています。

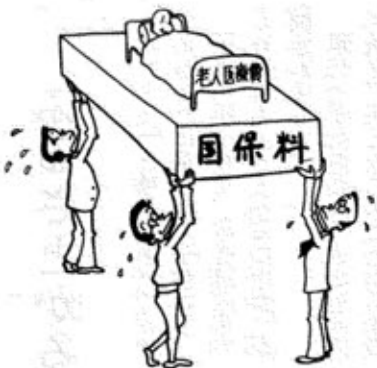
二選手とも、小樽で開かれた国体スキー競技に新潟県代表として出場し、松崎選手は複合競技少年の部で七位となりました。

両君はともに高校三年生で、高校生活最後のシーズンをかざったことになり、国体大会の途中から大学受験に出かけるなど調整に苦しみながらの国体となったようです。

県内スキー界のホープとして、今後の活躍が期待される両君です。

あなたは国保をよく理解していますか

老人医療費の大部分は、国保の負担です



おじいさん、おばあさん、病気になったら安心してお医者さんでなおしてください。おとしよりは、窓口でお金を払わなくてもお医者さんにかかれます。でも、その医療費の大部分は、

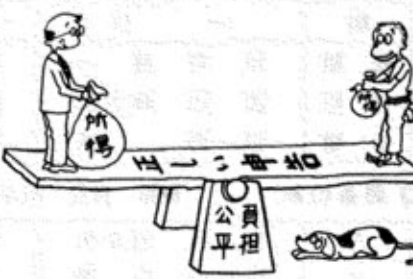
みんながお金を出し合っている国民健康保険（国保）が、支払っているのです。

老人の医療費は国保全体の34%

おとしよりの医療費は、とても大きな額になっています。五十三年度の老人医療費は、年間の一人平均が約二十一万円で、これは老人以外の人の約三倍にあたり、国保全体の費用の三十四パーセントになっています。わが国の老人人口はますます増えてゆく見込みで、それに伴って増加する医療費をどのようにに保険で賄っていくかが、将来の大きな課題となっています。

### 申告は3月15日まで

申告する所得は、前年の取得です。まだ申告をしていない方は、早目に済ませてください。未申告の場合は、町で一方的に決定することになります。国保は、正しい申告で公平な負担を願っています。



正しい所得の申告をしないと、国保料は不公平となるばかりでなく、国保料の特色として取るべき総額が決まっているので、他の人が余分の負担をする結果になります。

自宅で学べる

### NHK学園高校 生徒募集

NHK学園高校は、テレビ・ラジオを利用して、高校普通科の課程を学習する通信制専門の高校で、4年間で高卒の資格が得られます。

テレビ・ラジオを利用して規則正しい学習、スクーリング時間が少ない、全国1学区で転校のないことが特色です。

願書受付 4月10日まで  
入学案内 ハガキ・電話で請求  
新潟市弁天町1(0252-47-3111)  
NHK新潟放送局

## 信号機を新設

野田と中山に



野田に設置された信号機

現在当町内では、関越道の建設が進められておりますが、これに伴う工事用車両の通行が、雪消えよりかなり増加することが予想されています。

このため町では、道路公団の協力を得て工事用車両の通行が多い中山のスキー場入口十字路と、野田十字路に、信号機を設置し、地域の人達に喜ばれています。

交通事故は、全般的には、やや減少の傾向にありますが、悲惨な事故は、あとをたちません。

最近の事故は、裏通り、交差点で多発しているのが特色ですが、当町では、国道十七号線での事故が大多数を占めています。交通事故には十分注意しましょう。

## 交通安全教室

先般野田公民館において、「交通安全教室」が開催されました。野田地区は、国道十七号線の開通以来、交通事故の多発地帯であ



交通安全教室

り、最近では、上越新幹線や、関越道建設による工事用車両が増加し交通安全意識の高い地区となっています。

当日は、あいにく吹雪もようの天候でしたが、地域の方多数が出席し、交通安全映画のあと、川口駐在所長、交通指導員を囲んで座談会が行なわれ、活発な意見が生まれ盛会のうちに終了しました。

## 郡内の小学生が親善スキー大会

北魚沼郡内の小学生が、親善スキー大会を行いました。郡内二十三カ校の児童約七百人が参加したこの大会は、豪雪の中を小出スキー場で開催されたもので、本町からは四校が出場して元気に活躍してくれました。

この大会は、今年で十二回目となり、距離、回転、リレーの三種目が実施されていますが、本町の学校方針で距離に重点をおいているために、距離競技に入賞者が片寄りました。

小学校親善スキー大会入賞者

距離競技

男子（五キロメートル）

六年 四位 関 浩和（川口）

十三位 山田孝司（川口）

五年 十位 星野利夫（木沢）



## 先生がスキーの勉強

先ほど、川口町教員協議会主催で、先生のスキー勉強会が開催されました。

この勉強会は、先生のスキー技術向上と、正しく、高い技術を、子供達に還元することを目的としたもので、今年で三回目、川口スキー場を会場に、町内の小・中学校の全先生が参加しました。

指導は、今年より発足した、川口スキー学校の講師があたり、講習内容も、従来の一般的な技術習得を、重点技術習得にポイントをしぼり、約三時間にわたる講習に汗を流していました。

タバコは町内で買ひましよう

## 銃砲刀剣類の登録審査

銃砲刀剣類を不法に所持すると罪せられますから、登録しておきましょう。

今年の登録審査は次のように定められています。

- 審査日程 4月15日（火）
- 6月16日（月）
- 9月16日（火）
- 12月18日（木）
- 2月16日（月）

会場 長岡市厚生会館

持参するもの

- (1)登録をうける銃砲刀剣類。
  - (2)警察署が発行した銃砲刀剣類の発見届出受理証。
  - (3)手数料 1件 3,000円
  - (4)印鑑
  - (5)銃砲刀剣類は、現物を危険のないように持参すること。
- 登録先 県教育庁文化行政課  
くわしいことは、川口町教育委員会に照合して下さい。